

【関東信越税理士会新潟支部長賞】

「税金について知ったこと」

新潟市立葛塚中学校

三年 林 紅 芳

私は今まで税金がどこで使われているのか全くわかっていませんでした。ですが学校で税金について学習したことで年金や道路の整備に使われていることがわかりました。税金がないと暮らしが不便になるとわかり、税金は大切なものだと感じました。税金はさまざまなところで使われており、所得税やふるさと納税など、聞いたことはあってもどんなふううに使われているのかわからないので詳しく知りたいと思いました。調べていくうちに初めて聞く税がありました。その一つはタバコ税というものです。タバコ税は嗜好品にかかるため、定価の60%以上と消費者にはもともと負担が大きく設定されている税だと知りました。タバコは健康に悪影響と依存性があると知られています。そのため、国民を喫煙から遠ざけるために、タバコ税の引き上げが行われてきたそうです。これがあることで少しでもタバコを吸う人が減って、喫煙からくる健康状態の悪化を防げるし、周りにいる人も健康の悪化を防げるのでいいなと思いました。

気になって調べたものもあります。それは関税です。前から知っていましたが何のためにあるのかを具体的に知りませんでした。関税があることで国の経済を支えたり、日本国内の産業を保護することができそうです。関税がないと輸入された安い商品が沢山売れてしまうので関税のメリット

に納得しました。国を支えるために重要な税なんだとわかりました。

税金の課題についても考えてみました。最近では増税でどんな商品が高くなっています。税金は、将来のことや国のことを考えると、とても大事なものになるので理解はできませんが、国民の不満も大きくなると思うので増税の課題なのかなと思いました。他にも調べてみたら、少子化が進むことで税金を支払う若者が減り、お年寄りへの年金や医療に必要な税金が減っていることがわかりました。このまま少子高齢化が進むと私たちが高齢になった時に年金や医療に必要な税金がどんどん減っていくのでそこも税金の課題だとわかりました。

このことから、税金の必要さがわかりました。そして、税金の課題も知ることができたのでよかったです。